

第2回委員会の論点整理



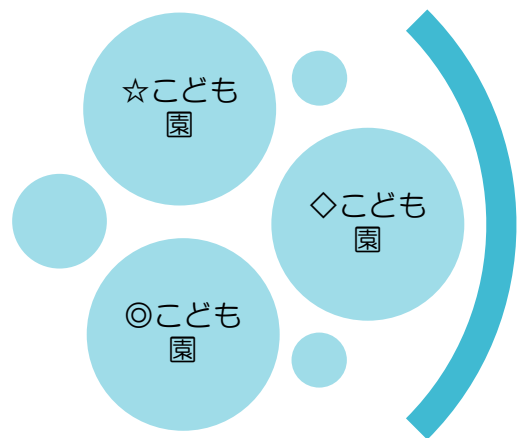
1. 園名案決定までのスケジュール

6月15日～7月15日

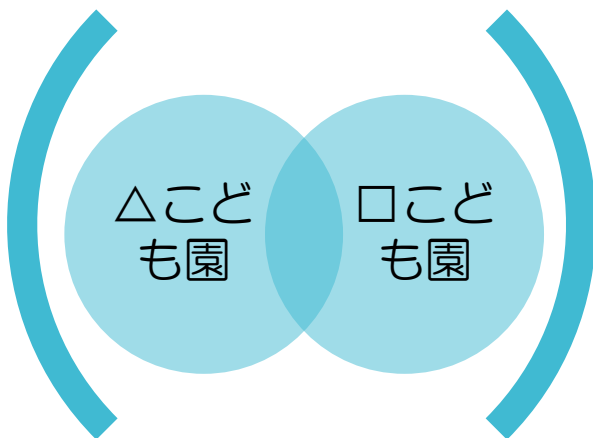
第2回 7月31日

第3回 8月28日

9月中旬



園名案の募集



園名案候補の選定



園名案の決定

園歌・園章
の募集

2. 第2回委員会 審議事項

審議事項

園名案候補の選定

ポイント

- 「①わかりやすい」園名を前提に、
- 「②地域からの親しみやすさ」からの園名、
- 「③心豊かでたくましく生き、未来をつくる子どもになってほしいとの願い」（子どもの育ちへの願い）からの園名、

地域と育ちへの願いの両方を組み合わせた園名で検討を行う。

| 想定される園名（例示） | | |
|--------------------------------|--|--|
| 地域からの親しみやすさ | 子どもの育ちへの願い | 地域と育ちへの願いの両方 |
| 老上西こども園 矢橋帰帆こども園 笠縫東こども園 | あおばなこども園 あおぞらこども園 にじいろこども園 ひまわりこども園 | 老上西にじいろこども園 矢橋あおぞらこども園 帰帆かがやきこども園 笠縫東ひまわりこども園 |

3. 第2回委員会での主な意見

- 思いや願いは、園歌に込める方が良い
- 思いや願いよりも、どこにあるかわかる方が重要
- 避難所としては、地名がある方がよい
- 子どもの育ちへの願いはひとつに決めがたい
- 同じ小学校区内に複数の公立施設がある場合には、町名をつけるか、願いを組み合わせる
- 子どもからの応募案を採用したい
- 複数の思いが連想できる名前が良い
- クラス名との重複は避けるべき
- 第五保育所には、たくましさを感じられる園名が良い
- 笠縫東幼稚園には、自然を感じられる名前が良い
- 園歌に保護者、園児の思い入れがあり、「笠縫東」の名前を存続させてほしい

4. 園名案の候補(第2回委員会検討結果)

| | 地域からの親しみやすさ | 子どもの育ちへの願い | 第2回委員会での委員からの提案 |
|--------|---|--|--|
| 第五保育所 | <ul style="list-style-type: none"> ① 老上西 こども園 ② 矢橋 こども園 | <ul style="list-style-type: none"> ① かがやき こども園 ② にじいろ こども園 ③ あおぞら こども園 ④ おひさま こども園 ⑤ きらきら (キラキラ) こども園 | <ul style="list-style-type: none"> ● あゆっ子/若鮎 こども園 |
| 笠縫東幼稚園 | <ul style="list-style-type: none"> ① 笠縫東 こども園 ② 平井 こども園 | <ul style="list-style-type: none"> ① かがやき こども園 ② おおぞら こども園 ③ あおぞら こども園 ④ おひさま こども園 ⑤ わかば こども園 | <ul style="list-style-type: none"> ● 東風 こども園 |

5. 補足説明

◆公立幼稚園⇒小学校名と同じ園名が多い、公立保育所⇒草津、草津第二、第三など

◆同じ小学校区内にある公立施設

| | |
|------|------------------------------|
| 草津 | 中央幼稚園・草津保育所（H29統合予定）、草津第二保育所 |
| 草津第二 | 大路幼稚園・第六保育所（H30統合予定） |
| 老上西 | 第三保育所、第五保育所 |
| 常盤 | 常盤幼稚園、第四保育所 |

◆公立幼稚園には、すべて園歌があり、その多くは歌詞に園名が含まれている
（10園中、中央幼稚園、山田幼稚園以外の8園）

◆公立保育所、幼稚園、認定こども園は、災害時等の避難所としての機能をもつ。

◆第五保育所のクラス名「すみれ」「すずらん」「こすもす」「ひまわり」「りんどう」

◆笠縫東幼稚園のクラス名「たんぽぽ」「ひまわり」「つき」「にじ」

(参考)

草津市の就学前の教育・保育、子育て施策などで大事にしているキーワード

■ 草津市保育教育指針から

乳幼児教育・保育の目標 「心豊かでたくましく生きる子どもの育成」

めざす子ども像

- *いのちを大切にする子ども《健康・体力》
- *よく考え、主体的に行動する子ども《学びの基礎力》
- *人と豊かにかかわる子ども《豊かな人間性》

■ 草津市子ども・子育て支援事業計画の目指すこどもの姿「草津っ子」

心豊かでたくましく生き、未来をつくる草津の子ども

- ①いのちを大切にし、育む子ども（健康・体力）
- ②よく考え、主体的に行動する子ども（学び）
- ③人と豊かに関わる子ども（豊かな人間性）
- ④生まれ育った地域に愛着を持つ子ども（地域）

第五保育所

「めざす子ども像」

- ・自分でできることは最後までがんばろうとする子ども
- ・たくましくしなやかな体をつくろうとする子ども
- ・友だちと遊ぶことを楽しむ子ども
- ・自分の思いや要求が、ことばや身振りで言える子ども
- ・友だちを思いやれる子ども

笠縫東幼稚園

「教育目標」

友だちと仲よく遊ぼうよ元気な子ども

「目指す幼児像」

- ・よく考える子ども
- ・ねばり強い子ども
- ・友だちと仲よく遊べる子ども

(参考)第五保育所の様子



(参考)笠縫東幼稚園の様子



(参考)地域名の由来について

<老上>

この地域の名称は、明治22年に野路、矢橋、橋岡、新浜、南笠の5つの村が合併して「老上村」が誕生する際に、滋賀県が作成した「新町村造成事由書」において、「新村名 老上村」と標記され、その名が選定された理由として「本部内二有名なる狼川アリ、古昔老上川ト云フ、故二其名ヲ採リ新村名トナサントス」とあり、老上の名が生まれている。(老上西小学校校名案答申より)

(老上西小学校の校名案選定理由)

「老上」という名称は、この地域に住む人々にとって歴史的な意義が深く、地域性が感じられる親しみやすい名称であり、「老上地域」の一体感を維持・醸成する上でも、新設校の校名に引き継がれることが望ましいと思われる。

また、新設校は、母体校である老上小学校の西側に位置しており、これらのことを総合的に勘案し、「老上西小学校」を校名案として選定する。(老上西小学校校名案答申より)

<笠縫(東)>

笠縫の地名は、天皇家の血筋につながる豪族「笠氏」がこの地を治めたことに由来するものとも云われています。聖徳太子の時代、湖東地域を中心に多くの社寺が建立され、朝鮮半島との往来も盛んで、強大な文化圏が形成されていたことがうかがえます。(笠縫まちづくり協議会HPより)

笠縫東学区は、急激な人口増加に伴い、昭和53年に笠縫小学校が分離し笠縫東小学校が開校したことにより誕生しました。(笠縫東学区まちづくり協議会HPより)